

深過冷却液体が切り拓く 蓄電池の革新 —電池系ユニコーンへの道—

ビジネスアイディアの概要

ヒアリングにより得た革新的材料の三大要素

不安解消のために



不燃性

不便解消のために



優れたイオン輸送能

製造の障壁
解消のために



液体

電池の革新に必要な三大要素を保有する
「**深過冷却Li塩**」(PCT出願済み 各国移行中)
を用い、既存の蓄電池の欠点を克服した
革新的な蓄電池の開発&実装を推し進める

日本発 電池系ユニコーンへ

ビジネスアイディアを事業化するための課題

1. PSFの実施

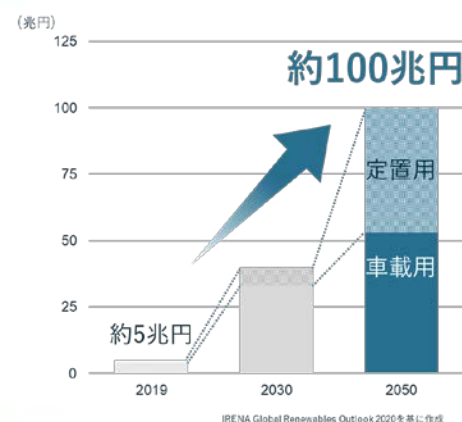
ヒアリングによって明らかになった3要素を持つ材料を用い、
実際に蓄電池を製造したときに、どの程度のパフォーマンスが
発現できるのかの検証

2. ターゲット顧客と ビジネスモデルの検証

材料の優れた点を活かして貢献できる顧客は誰なのか
/どのビジネスモデルが市場へのアプローチに最も
適しているのかの検証

事業化の見通し

蓄電池の世界市場



今後も成長を続ける蓄電池市場の大きさ(左図)や我々が保有するディープテックの特許性が評価され、米トップVCにも興味を持っていただいている(出資関心確認書/継続的な支援)
2026年の事業化ならびにPMF達成に向け ①さらなる研究開発
②パートナー契約 ③顧客開拓の3ステップを残りのシード期に予定

事業者情報



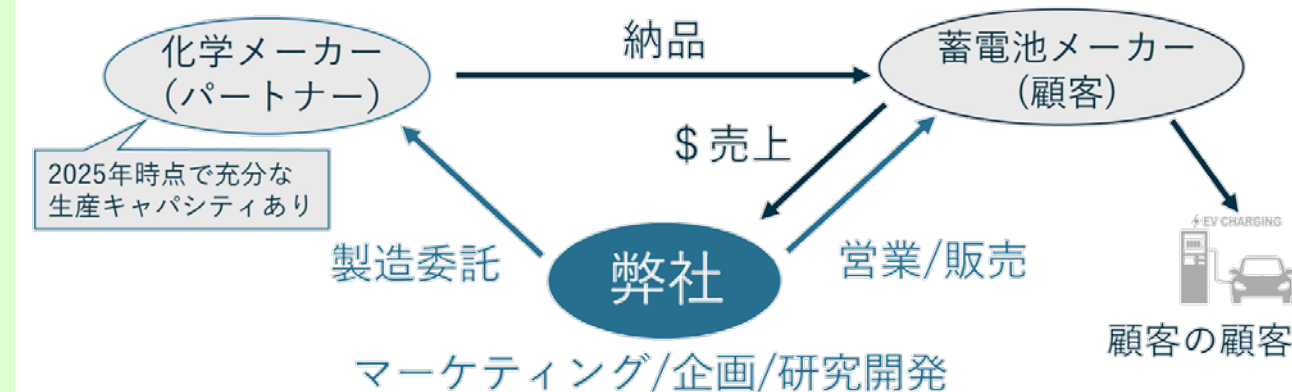
FR 須藤 拓

横浜国立大学 博士2年
JSPS特別研究員DC1
学会講演賞
(英国王立化学会 等)

+ 産業/アカデミックより計5名

ビジネスアイディア概要図等

製造委託で市場に素早くアプローチ



液体材料は既存工場で生産可能
⇒自社工場は持たなくてOK

学術的知財に基づく材料設計
⇒高い模倣困難性

革新的材料を蓄電池市場に提供